

「第 11 期ちえのわ農学校」

報告と新年度の募集内容です。

「サークルちえのわ」は東京学芸大学の学生サークルです。大学内にある農園を借りて、「ちえのわ農学校」と題して毎月 1 回地域の子どもたち（最初に年間参加募集してます）と食農体験活動を行っています。また INCH のキャンプにもスタッフとして参加させていただいてもいます。今回この場をお借りして「ちえのわ農学校」のご紹介と来年度（第 12 期）の参加者の募集をさせていただきたいと思ひます。

【ちえのわ農学校とは】

ちえのわ農学校は、次の 3 つの“わ”を理念に、4 月から翌年 1 月までの毎月 1 回(全 10 回)活動を行っています。

- *自然のわ：自然の様々な表情と向き合いながら、「種から胃袋まで」の道のりを実践することで、命・自然とのつながりを五感で感じるきっかけづくりをする。
- *人のわ：農学校だからこそできる体験を通じて子どもたちが仲間とのつながりを感じられるきっかけづくりをする。
- *知恵のわ：昔ながらの知恵や文化にふれ、身近なものを見つめなおすきっかけづくりをする。

ちえのわ農学校では、お米作りや野菜の栽培を中心に様々な自然文化体験を行っています。第 11 期となる今年度（平成 27 年度）は以下のようなことをしました。

第 1 回(4 月 18 日)

スタッフや他の友達との初対面。でもアイスブレイキングや農園散策をするうちに緊張がほぐれて、帰る頃にはみんな笑顔でした。畑の活動では自分の育てる野菜を決め、種をまきました。どのように野菜を育てたらいいのかスタッフと相談して収穫までの目標も立てました。

第 2 回(5 月 23 日)

5 月はみんなで田植えをしました。田んぼに 1 列に並んで、みんなで順番に「ちえのわ米」の苗を植えていきます。はじめは泥のぬかるんだ感触が気持ち悪いけど、みんなで植えていくうちにだんだん楽しくなってみんな笑顔で田植えができました。また、「ちえのわ米」には、うるち米ともち米があり違いを確かめることもできました。



第 3 回(6 月 13 日)

5 月の活動で田植えをした田んぼには生き物がたくさん!ということで田んぼの生き物観察を行いました。生き物といっても昆虫など動いている生物だけではなく

く動かない植物などにも目を向けて観察できました。午後には野菜の場所の目印として各自で畑の野菜プレートを作りました。「ここが自分たちの畑」感が強くなったとともに、より一層育てている野菜への愛着をもつことができたのではないのでしょうか。

第 4 回(7 月 11 日)

7 月は竹を使って風鈴や水鉄砲、万華鏡、竹笛を作りました。のこぎりで竹を使いやすい大きさに切ったり、錐で穴をあけたり、それぞれが試行錯誤しながら工作しました。お昼には流しそうめんを食べました。暑さを忘れて、流れてくるそうめんを口いっぱい頬張っていました。

自分で作った水鉄砲を使って水遊びもして元気に農園を駆け回りました。



第 5 回(8 月 22・23 日)

8 月はキャンプ!農園にテントを張ってみんなで 1 泊します。企画も盛りだくさん。まずはヤマメさばき。生きたヤマメを自分の手でさばいて焼いて食べることを通して、命の大切さやつなが

り、そして命をいただくということを学びました。

次は今日寝る場所を確保するために一緒に寝る友達とテントを協力してたてました。テントを立てた後は待ちに待った夏野菜の収穫。トマトやナスやかぼちゃ、たくさんの野菜を収穫することができました。

午後からは自由時間、田んぼの手入れのために雑草を刈ったり、イナゴを捕まえたり、ドロケイをして夏の農園を満喫しました。

夕食も自分たちで作りました。昼間に収穫した野菜を使って、シンガポールカレー・ツナとトマトのカレー・焼き野菜カレーの3種類のカレーを作りました。調理もみんなで手分けして、協力して進めます。ちえのわで栽培・収穫した野菜を調理し食べることで、「種から胃袋まで」の道のりを達成することもできました。カレーを食べている間に日も暮れてきました。夜はナイトハイクと影絵遊びをしました。暗闇に包まれた夜の農園はいつもとまた一味違います。影絵遊びは、みんなでストーリーを考えました。子どもたちの協力し合う姿に、友情の深まりを感じました。

2日目の朝には1日目に捕まえたイナゴの佃煮をみんなで食べ、再度命をいただく大切さを学びました。その後、農園の植物の葉を使って染め物をしました。葉の形の違いを生かして工夫を凝らしたり、葉によって色の出方に違いがあることを発見したりと、子どもたちひとりひとりの個性がうかがえました。



第6回(9月12日)

9月は冬に向けた畑の活動をしました。畑のグループに分かれて冬野菜の育て方を調べてから冬野菜の種を植えます。春に一度やっていることもあって、子どもたちの道具の使い方や種のみき方も慣れてきました。田んぼの様子も見に行きました。毎月ちょっとずつ田んぼの様子は見えていますが、今月は田んぼに網がかけられているのをすぐさま発見。これは鳥に稲穂をつつかれないようにするためで、つまり少しずつお米ができていくという証拠ですね。来月が楽しみ！

第7回(10月10日)

10月はいよいよお米の収穫です。一人一本鎌を持って、稲を刈り取っていきます。刈り取って、数束ずつひもでしばってまとめ、そしてそれを干していきました。体は疲れているのにみんな笑顔で活動していました。刈り取られた田んぼでもいろいろな生き物が！！子どもたちは生き物を観察したり捕まえたりしていました。稲はひと月干しておいて、来月食べられるように加工します。

また10月は里芋の収穫をしました。里芋の葉っぱといえばトトロ！！みんなでトトロになりきりました。里芋はみんなで甘露煮にして食べました。少し肌寒い日だったのであったまりましたね。収穫と秋の味覚を堪能することができました。



第8回(11月14日)

11月は残念ながら天気は雨模様。収穫したお米を、食べられるように加工していきます。そう、脱穀と精米です。足踏み脱穀機と唐箕を使って脱穀し、精米は精米機のを借りました。また穂を外した稲わらは細かく切り、肥料になるように田んぼにまきました。稲を余すところなく有効に使おうとする昔の人の知恵や工夫を感じながら活動することができました。12月はいよいよちえのわ米がお昼ご飯に登場します。また、11月はサツマイモの収穫をしておやつは焼き芋を食べました。

第9回(12月12日)

12月は、ほうき、コースター、ツリーの藁工作を行いました。ひとりひとり個性的な作品を作り、作った作品の工夫した点、感想をコメントカードに書いて藁工作でつくった作品とともに展示をし、他の友達がどのような作品を作ったのかを見てまわりました。

また12月はお餅つきをしました。こちらもちえのわで栽培・収穫したもち米を使いました。重い杵を持って餅をつく子どもたちの表情は、大変そうながらもとても楽しそうでした。

第 10 回(1 月 23 日)

1 月はいよいよ最終回。数日前に降った雪ので農園は一面雪で真っ白です。

まずは 1 年間を通して畑で学んだ知識のクイズをゲーム形式でしました。クイズの正解がわからない子もわかる子も楽しみながら畑の知識を復習しました。そして今度は一年間の活動を思い出しながら答えるクイズゲームをやりました。そして今度は農園全体を使って

スタッフより

ちえのわ農学校に初めて参加してくれた子ども、11 期以前にちえのわ農学校に参加してくれたことがある子どもが半分半分でちえのわ農学校はスタートしました。初めて参加をする子どもも参加したことがある子どもも最初は緊張した表情をしていましたが、ちえのわ農学校を通して出会ったスタッフ、そしてほかの子どもたちと打ち解けていく姿がとてもうれしかったです。最後にはちえのわの活動が「楽しい」とか「来年もまた来たい」と言ってくれた子が多く、ちえのわ農学校が子どもたちにとって、自然の“わ、や人の“わ、を感じることでできる、ひとつの居場所になれたのではないかと思います。私たちスタッフも未熟ゆえ試行錯誤の日々でしたが、その分、子どもたちとの活動を通してたくさんのことを学ばせてもらいました。1 年間ちえのわ農学校を支えてくださった皆様、そして子どもたちには感謝の気持ちでいっぱいです。

2015 年度代表 井守智大(東京学芸大学 3 年生)

【第 12 期ちえのわ農学校参加者募集】

サークルちえのわでは、来年度も参加者を募集しています！

対 象：小学 3 年生～中学 3 年生までの 16 名(応募者多数の場合抽選)

スタッフ：東京学芸大学学生を中心に 20 名程度

場 所：東京学芸大学 環境教育研究センターおよび彩色園

参 加 費：15,000 円(食費、保険、材料費等)

主 催：東京学芸大学「サークルちえのわ」(<http://www.gakugei-chienowa.org/>)

共 催：NPO 法人「自然文化誌研究会」(<http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>)

後 援：小金井市教育委員会

○お問い合わせ

Tel: 080-6700-3764(大窪) E-mail: gakugei_chienowa@yahoo.co.jp

※お問い合わせ後、詳しい資料をお送りいたします。資料をご覧の上お申し込みをお願いします。

※お申込みの締め切りは、2016 年 3 月 31 日必着。

○2016 年度 年間予定 月 1 回の土曜日(全 10 回) 10:00～16:00 (日程・内容ともに変更する可能性あり)

日程	4/16	5/21	6/11	7/9	8/20,21	9/10	10/8	11/12	12/10	1/21
活動内容	開校式、農園散策、夏野菜の種まき	田植え	かかし作り	すだれ・風鈴作り	夏野菜料理、ヤマメさばき	冬野菜種まき	稲刈り、きなこづくり	脱穀精米	もちつき、稲わら工作	修了式
	夏野菜の栽培					冬野菜の栽培				
	果物の調理・保存 自然を対象にしたあそびなど									

※活動内容の中で企画が未定な部分もありますが、子どもたちのやりたいことを聞きながら今後決めていきたいと考えています。また自由時間を設定し、季節ごとの農園散策やおやつ作りなど、子どもひとりひとりの、ふと持った興味を大切にしてお応えしていきたいと考えています。